

JIS

繊維用語（染色加工部門）

JIS L 0207 : 2005

(JTFA/JSA)

平成 17 年 1 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 川 昭二郎	お茶の水女子大学
(委員)	秋 庭 悦 子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	天 野 正 喜	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	井 村 五 郎	千葉工業大学
	大 熊 志津江	文化女子大学
	大 津 徳 明	社団法人日本住宅設備システム協会
	岡 田 宏	社団法人繊維評価技術協議会
	長 見 萬里野	財団法人日本消費者協会
	小 熊 誠 次	社団法人日本オフィス家具協会
	小 林 哲 郎	財団法人家電製品協会
	斎 田 真 也	独立行政法人産業技術総合研究所
	三 枝 繁 雄	財団法人製品安全協会
	櫻 橋 晴 雄	社団法人日本ガス石油機器工業会
	佐 野 真理子	主婦連合会
	鈴 木 啓二郎	株式会社西友
	芝 原 純	社団法人消費者関連専門家会議
	星 川 安 之	財団法人共用品推進機構
	村 田 政 光	財団法人日本文化用品安全試験所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 37.2.1 改正：平成 17.1.20

官 報 公 示：平成 17.1.20

原 案 作 成 者：社団法人日本染色協会

(〒102-0081 東京都千代田区四番町 4 染色会館 TEL 03-3262-7211)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 小川 昭二郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本染色協会(JTFA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS L 0207:1976** は改正され、この規格に置き換えられる。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 分類	1
4. 番号、用語及び定義	1
解 説	31
索 引	32

繊維用語（染色加工部門）

Glossary of terms used in textile industry (Dyeing and finishing)

1. 適用範囲 この規格は、繊維工業において、染色加工部門の術語として用いる主な用語について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS L 0803 染色堅ろう度試験用添付白布

JIS Z 8721 色の表示方法－三属性による表示

3. 分類 繊維用語（染色加工部門）は、次の9分類とする。これらの分類を含む4けたの番号を用語の見出し番号とする。

- 一般
- 前工程
- 浸染
- な（捺）染
- 後工程
- 機能加工
- 染料・薬剤
- 染色堅ろう度
- 環境

4. 番号、用語及び定義 番号、用語及び定義は、次による。

なお、対応英語を参考として示す。

備考1. 一つの用語欄に二つ以上の用語が併記してある場合には、記載してある順位に従って優先的に使用する。

2. 用語の読みが紛らわしいものについては、用語の下に括弧書きで読みを示す。

a) 一般

番号	用語	定義	対応英語（参考）
1001	あたり	布の光沢が部分的に異なった状態。毛織物、合成繊維織物などで発生しやすい。	abnormal luster
1002	アルカリショック法	反応染料による綿などの染色、な染で、染料付与後の布地を高濃度のアルカリ浴に短時間浸せきして固着する方法。	alkali shock method